

第 36 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会
兼 神奈川県選手権大会
第 27 回 JTU 関東ブロックトライアスロン選手権大会

競技運営マニュアル

【TO 用】

第 0.9 1 版

作成者	松村 一彦
作成日	2022 年 6 月 25 日
最終更新日	2022 年 6 月 25 日

目次

第 36 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会	1
目次	2
1. はじめに	3
2. 大会概要	4
3. 競技内容/スケジュール	5
4. 集合場所/時間	8
5. 服装/持ち物	11
6. COVID-19 感染防止対策	12
7. 注意事項	13
8. 緊急時の対応	14
9. 競技規則(ローカルルール)	15
10. TO 業務	24
11. コースマップ	36
12. 計測ポイント	39
13. エリア詳細図	40
改版履歴	44

■ 略語一覧

TO	Technical Official テクニカル・オフィシャル (審判員)
TL	Team Leader チームリーダー
TD	Technical Delegate 技術代表
HR	Head Referee 審判長
CTO	Chief Technical Official チーフ・テクニカル・オフィシャル (各パートのチーフ TO)
SCTO	Sub-Chief Technical Official サブチーフ・テクニカル・オフィシャル (各パートのサブチーフ TO)
VO	Volunteer ボランティア
MD	Medical メディカル、医療チーム
KnTU	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合

1. はじめに

このたびは、「第 36 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会」の競技運営にご協力いただきありがとうございます。

一昨年来の新型コロナウイルス感染症が終息していない中、本年も COVID-19 対策を講じながらの開催となります。これまでのノウハウを活かし、一般の部および選手権の部はスタンダードディスタンスで実施、支援者入場数も制限を撤廃するなど、ニューノーマルに対応した大会となります。加えて、エイジグループナショナルチャンピオンシップ出場ポイント獲得大会でもあり、これまで以上に熱いレースが繰り上げられます。TO の皆さんにおかれましては、本大会の運営方法と COVID-19 対策について事前に十分に理解いただき、大会運営者側の立場として、選手・選手支援者・関係者等、会場に来場される皆さんへの対応をお願いいたします。

また、「JTU 関東ブロック選手権」及び「神奈川県選手権大会」を併催して開催いたします。第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川各県代表選考レースとなります。

エイジのレースと合わせて、エリートのレースも開催することになりますので、各カテゴリーについて競技運営マニュアルをご確認の上、事前に内容をご理解いただいた上で、各担当業務を実施いただけますようお願いいたします。

昨年同様、TO の皆さんには広い範囲をフォローいただきつつ、当日の状況に応じて、別のポジションのサポートに回っていただくなど、臨機応変に対応いただくことをお願いすることもありますので、何卒ご協力いただけますようお願いいたします。

チームリーダー：松村 一彦

技術代表：伊藤 功顕

2. 大会概要

大会名称	第 36 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会 兼 神奈川県選手権大会 第 27 回 JTU 関東ブロックトライアスロン選手権大会
開催日	2022 年 7 月 3 日(日)
会場	神奈川県横須賀市浦郷沖水域 及び夏島町周辺特設コース
主催	NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会実行委員会
主管	一般社団法人神奈川県トライアスロン連合
特別協賛	日産自動車株式会社追浜工場
地域支援 パートナー	NTT 東日本・味の素・スポーツクラブ NAS・2XU
協力	横浜市トライアスロン協会・川崎市トライアスロン協会 公益社団法人日本トライアスロン連合関東ブロック協議会ほか
後援	公益社団法人日本トライアスロン連合・横須賀市・横須賀市教育委員会 横須賀商工会議所・公益財団法人神奈川県スポーツ協会

<大会役員・実行委員会>

役職	氏名
大会会長	中山 俊行
大会副会長	渡邊 英夫
実行委員長	高崎 聡
レースディレクター(RD)	杉浦 博
チームリーダー(TL)	松村 一彦
大会本部	杉浦 真由美
技術代表(TD)	伊藤 功顕
審判長(HR) *スプリントの部/一般の部/各リレーの部	清水 英一
審判長(HR) *選手権の部	市川 硬一

<審議委員>

カテゴリー	氏名	
スプリントの部 一般の部	渡邊 英夫	大会副会長
	高崎 聡	実行委員長
	伊藤 功顕	技術代表
選手権の部	園川 峰紀	JTU 関東ブロック協議会会長
	高崎 聡	実行委員長
	伊藤 功顕	技術代表

3. 競技内容/スケジュール

1. 競技カテゴリー

No	カテゴリー	エントリー人数	競技開始	レースナンバー	スイムキャップ	
1	スプリントの部	58 人	09:00～ [*1] (09:00～09:03)	201-206,301-352	青	
	(高校生)	男子		(4 人)		201-204
		女子		(2 人)		205-206
	(一般)	男子		(45 人)		301-344,352
		女子		(7 人)		345-351
2	一般の部	188 人	09:40～ [*1] (09:40～9:49)	401- 588	赤	
	(一般)	男子		(169 人)		401 - 569
		女子		(19 人)		570 - 588
3	選手権の部	女子	16 人	12:30 [*2]	1-16	白
		男子	37 人	13:40 [*2]	1-37	
合計		299 人				

[*1] ローリングスタート：5 秒おきに 2 人ずつスタート(計測ポイントを踏んでから計測開始)

[*2] フローティング一斉スタート：海上にロープを張り、1m おきに選手がロープを握ってフローティングで並び一斉スタート

2. 距離/周回数

No	カテゴリー	総距離	スイム	バイク	ラン
1	スプリントの部	25.75km	750m (750m x1)	20km (6.8km x3)	5.0km (2.5km x2)
2	一般の部	51.5km	1500m (750m x2)	40km (6.8km x6)	10.0km (2.5km x4)
3	選手権の部	51.5km	1500m (750m x2)	40km (3.7km x10 + 1.55km x2)	10.0km (2.0 km x5)

3. 制限時間 (目安)

No	カテゴリー	スイム	バイク	ラン
1	スプリントの部	スタート後 30 分	スタート後 1 時間 20 分(80 分)	スタート後 2 時間(120 分)
2	一般の部	スタート後 60 分	スタート後 2 時間 40 分(160 分)	スタート後 4 時間(240 分)
3	選手権の部	-	-	-

4. タイムスケジュール

<2022 年 7 月 3 日(日)> ※詳細は、別紙タイムテーブルの PDF 資料を参照

内容		時間	
集合(役員/TL/TD/HR)		05:00	
集合(スイムチーフ/サブチーフ)		05:30	
集合(各チーフ/各サブチーフ)		06:00	
集合(全 TO)		06:30	
集合(ボランティア)		07:30	
【選手】 駐車場オープン		07:00	
【選手】 受付		07:45 - 08:45	
【選手】 開会式 *アナウンスで実施		08:30 - 08:35	
【選手】 競技説明会(スプリント/一般) *アナウンスで実施		08:35 - 08:40	
【選手】 競技説明会(選手権女子)		10:50 - 11:00	
【選手】 競技説明会(選手権男子)		11:20 - 11:30	
トランジションチェックイン			
	スプリントの部	07:45 - 08:45	
	一般の部	07:45 - 09:00	
	選手権の部 (エリート女子)	11:00 - 11:30	
	選手権の部 (エリート男子)	11:30 - 12:00	
競技		招集	スタート - 終了見込
	スプリントの部	08:40	09:00 - 11:05
	一般の部	09:20	9:40 - 13:45
	選手権の部 (エリート女子)	12:15	12:30 - 14:45
	選手権の部 (エリート男子)	13:25	13:40 - 15:45
トランジションオープン (バイクピックアップ)			
	スプリントの部	10:45 - 11:20	
	一般の部	12:55 - 13:45	
	選手権の部 (エリート女子・男子)	15:20 - 16:00	
表彰式 *アナウンスで実施			
	スプリントの部	11:40 - 11:55	
	一般の部	14:00 - 14:15	
	選手権の部	16:00 - 16:15	
【選手】 閉会式 *アナウンスで実施		16:15 - 16:20	
解散(全 TO) *業務終了後、順次流れ解散		16:30 頃	

5. 表彰対象

No	カテゴリー	詳細	男子						女子						
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1	スプリントの部	総合	○	○	○				○	○	○				
2	一般の部	総合	○	○	○				○	○	○				
4	選手権の部	関東ブロック選手権	○	○	○				○	○	○				
		神奈川県選手権	○						○						
			金 8						銀 6			銅 6			

4. 集合場所/時間

2022 年 7 月 2 日(土) 大会前日

役割	集合時間	集合場所	備考
役員/TL/TD/HR/各チーフ ※前日 対応予定者	10:00	第 4 通用門	・TO リストにて、前日対応予定と記載している 方は集合をお願いします。
TO(審判員) ※その他の方	-	-	・TO リストにて、前日対応予定となっていない 方は前日の来場は不要です。

2022 年 7 月 3 日(日) 大会当日

役割	集合時間	集合場所	備考
役員/TL/TD/HR	05:00	大会本部	
スイムチーフ/スイムサブチーフ	05:30	大会本部	
各チーフ/各サブチーフ	06:00	大会本部	
全 TO(審判員)	06:30	大会本部	<ul style="list-style-type: none"> ・受付時に「体温・健康管理・行動記録シート」「参加同意書」を提出してください。 ・パート毎に集合して下さい。(チーフが招集) ・大会当日、集合時間に遅れる場合は下記 連絡先のいずれかに必ずご連絡をお願いします。

<大会前日・当日連絡先>

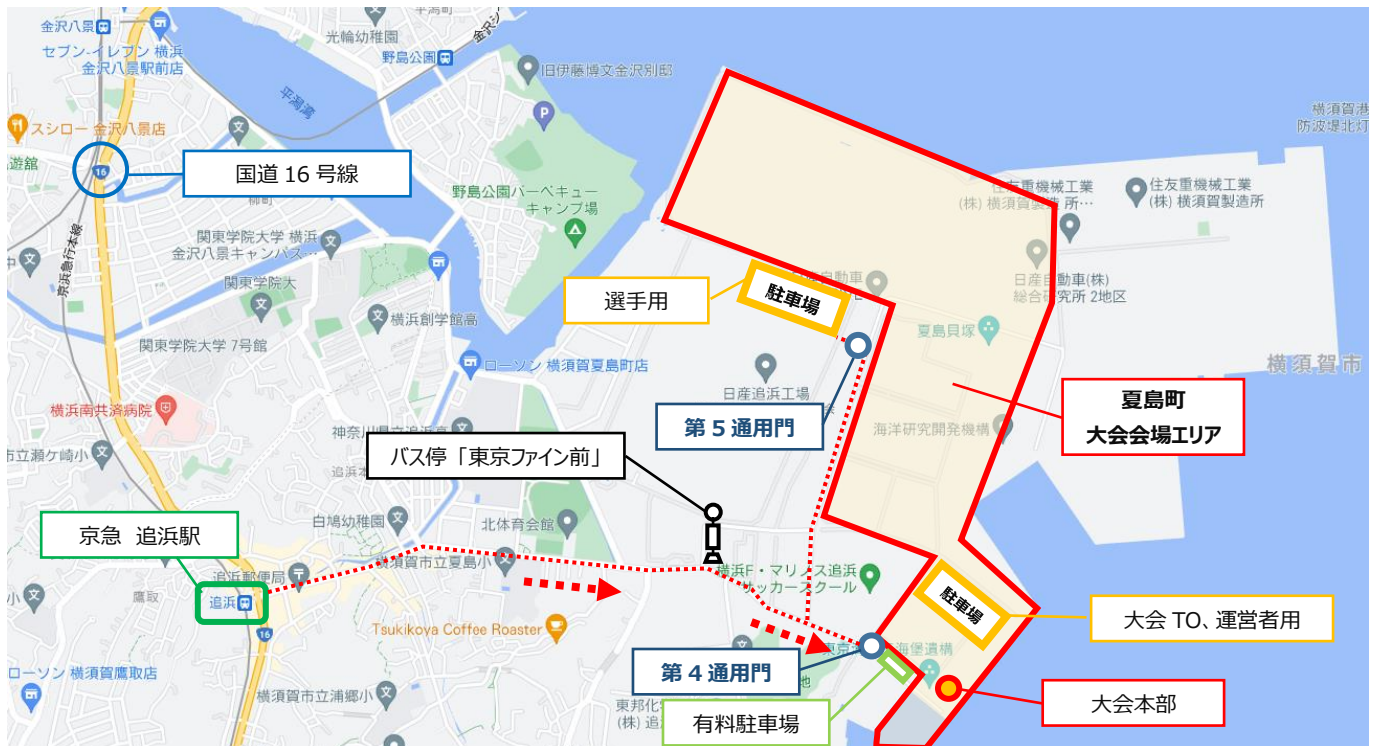
大会本部 (杉浦 真由美) : 070-3236-2277
 チームリーダー (松村 一彦) : 090-4202-2505
 技術代表 (伊藤 功顕) : 090-6007-9568

<横須賀市夏島町周辺 (大会本部・駐車場・最寄りバス停)>

※駐車場は「大会 TO、運営者用」と「選手用」で異なりますので、事前にご確認ください。



＜会場までのアクセス方法＞



手段	詳細
自家用車	・ 国道 16 号線から夏島町大会会場エリアへ向かい、「第 4 通用門」から入場して下さい。 ※ 駐車証をお持ちでない場合は、第 4 通用門の隣にある「有料駐車場」をご利用下さい。
自転車	
鉄道	・ 京浜急行電鉄にて「追浜駅」で下車してください。 ・ その後、徒歩かバスなどで夏島町大会会場へ向かい、「第 4 通用門」から入場して下さい。
徒歩（追浜駅から）	・ 「追浜駅」から東方面へ道なりに歩いて下さい。約 2.2km（所要約 30 分） ・ 「第 4 通用門」から入場して下さい。
バス（追浜駅から）	・ 「追浜駅」にて、「田浦・深浦循環バス『田 17』系統」へ乗車し、「東京ファイン前」にて下車して下さい。（所要約 5 分） ・ 「東京ファイン前」から東方面へ道なりに歩いて下さい。約 600m（所要約 8 分） ・ 「第 4 通用門」から入場して下さい。 <バス時刻表『田 17』系統> *2022/7/3(日) 追浜駅発（始発から 8 時まで：抜粋） 06:20 06:40 07:00 07:20 07:40 08:00

＜自家用車で来場される方へ＞

- ・車両の事前申請が必要です。
- ・TO サイトより駐車証申請書をダウンロードして、下記情報を、事務局 (info@kn-tu.or.jp) へ送信お願いいたします。
 - 氏名
 - 携帯電話番号
 - メーカー
 - 車種
 - ナンバー

駐車証を申請しておらず、お車でお越しの場合は、第 4 通用門の隣にある「**有料駐車場**」をご利用下さい。

※ 駐車証は TO サイトよりダウンロードできますが、申請していないと入場できません。

5. 服装/持ち物

服装(ドレスコード)

種類	ドレスコード	備考
上半身	JTU 審判員ポロシャツ(白黒)	[※注意] 忘れた場合、ベスト等貸与はありません。
下半身	黒のスラックスまたは半ズボン	
帽子	JTU キャップ	
靴	黒推奨	・動きやすいもの。派手なものは避けてください。 ※スイムパートも、必要以上に裸足にならないでください。
アンダーウェア	黒か白の無地	・派手なものは避けてください。
サングラス	色の薄いものについて使用を許可	・任意にて着用してください。
雨具(雨天時)	透明レインコート	・傘の使用は不可とします。
マスク (COVID-19 対策)	白または黒の無地のもの 不織布のもの	・各自で予備を含めて準備し、着用をお願いします。
ビニール手袋 (COVID-19 対策)	大会側で準備するもの	・選手と接するポジションの TO へ当日配布予定。 ・救護等、選手と接する場合に、着用をお願いします。 ・消毒等の対応時に着用して対応をお願いします。

持ち物

持ち物	備考
JTU ルールブック	・必須 (2019 年 1 月改定版)
JTU 公認審判員資格証	・必須
筆記用具(ペン・メモ帳)	・必須
ホイッスル	・必須 ※緊急時に使用。使用する場合は人に向かって吹かない。ピ・ピ・ピと短く吹く。
イエロー/レッド/ブルーカード	・お持ちの方は持参ください。
エマージェンシーシート	・お持ちの方は持参ください。 ※低体温の選手の保護のため。
バイク・ヘルメット	・「ラン」パートで「移動」担当の方は、持ち込みいただけますようお願いします。 ・「移動」担当以外の方で、大会本部エリアから遠方のポジションを担当される方は、移動を容易にするために可能であれば準備をお願いします。
バイク用工具一式	・「ホイールステーション」・「トランジション」・「バイク」パート担当の方は、アーレンキー・六角レンチ・ドライバー等、お手持ちの範囲で携帯できる工具を持参ください。 ・ホイールステーションでは、ディスクブレーキ対応のホイール交換時に使用する可能性があります。(2021WTCS 横浜大会からのフィードバックでの対応) ・トランジションでは、バイクチェック時などバイクの必要な場合に使用します。
「体温・健康管理・行動記録シート」	・TO 用の問診票・参加同意書を、印刷して記入の上、大会当日持参してください。 ・当日の TO 受付にて提出をお願いします。
「参加同意書」	

6. COVID-19 感染防止対策

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に関し、本大会の運営に当たっては、WT(World Triathlon)とJTU(日本トライアスロン連合)から発信されている「大会開催時のチェックリスト」に準拠して、JTUにてまとめた下記レジュメに基づいて、感染防止対策を実施いたします。

<レジュメ名> *TO サイトより確認ください

「2022 年トライアスロン大会での新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」(2022/5/29 JTU)

TOとして運営にご協力いただきみなさんにおかれましては、本感染防止対策における内容を事前にご一読・ご理解をお願いいたします。そのうえで、選手・応援者への丁寧な説明と協力要請をお願いいたします。また、TOとして業務するみなさん自身も感染しないよう、対策を徹底の上で業務いただけますようお願いいたします。

万が一、大会後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、KnTU 事務局への連絡をお願いします。

KnTU 事務局：杉浦(070-3236-2277)

7. 注意事項

1. TO としての心得

- TO は尋ねられる。
⇒**毎年、周回不足による DSQ が発生しています。また、周回オーバーする選手も多くいます。コース/周回数確認を促してください。**
⇒レース開始時間、バイク・ランの周回数、トイレ・更衣室の場所、バイクピックアップ時間等答えられるよう、選手最終案内は事前に必ず目を通してください。（選手最終案内は TO サイトにアップします。）
- TO は見られている。
⇒挨拶は率先して行いましょう。TO 一同様々なポイントで丁寧に解り易く競技者に接することを心がけてください。
⇒業務以外の写真撮影は禁止です。
⇒業務中は業務に専念し、雑談等、来場者が不快に感じる行為は慎みましょう。
- 持ち場で起こり得ることを事前にシミュレーション。
⇒選手が転倒した場合、コースミスをした場合等、各自の持ち場で起こり得ることを想定し、対応を考えておいてください。

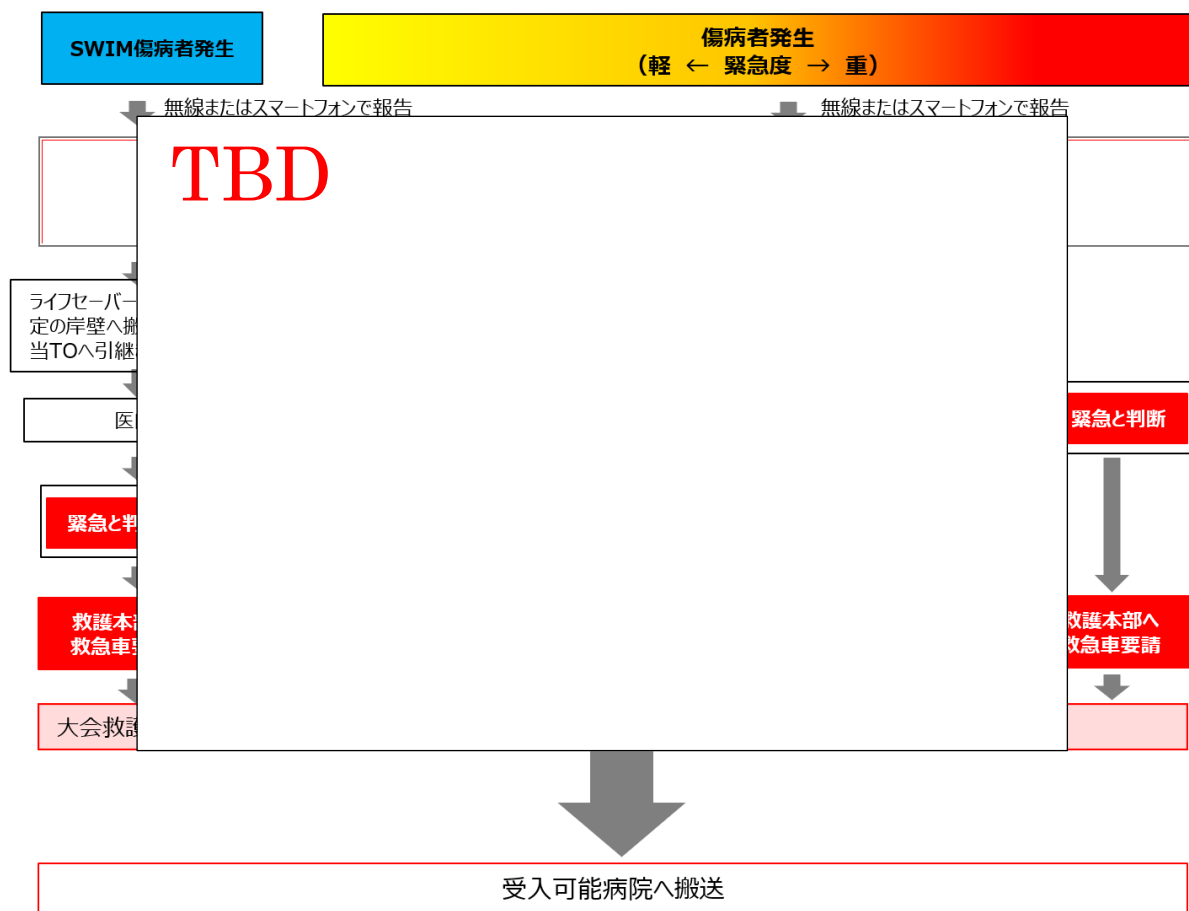
2. 注意事項

- 備品の持ち出しについて
⇒大会本部にて管理し、必要なパートへお渡しします。
⇒勝手に持ち出しすることのないよう、お願いいたします。
- 食事時の**黙食徹底**について
⇒本大会を開催するにあたり、施設責任者より**会場内での密を避けた黙食の徹底**について要請を受けております。
⇒食事(カレー)が支給されますが、必ず密を避けて黙食を徹底いただけますようお願いいたします。
⇒会場内での選手の食事においても、必要な場合は TO から注意喚起をお願いいたします。

8. 緊急時の対応 (TBD)

- 安全は全てに優先します。
- 傷病者を発見したら、他の競技者への 2 次災害防止にも配慮し、様態の確認を行ってください。
- 傷病者が意識／呼吸のない場合は、直ちに「119 番通報」し大会本部へ連絡してください。
- それ以外の傷病者を発見した場合も、大会本部・救護本部に連絡しその指示に従って対応してください。
- 無線がない場合は、チーフかサブチーフまで連絡してください。

大会本部 (杉浦 真由美) : 070-3236-2277
 救護本部 () :



- 本大会のメディカルチーム
 - 医師 1 名、看護師 2 名をメディカルチームとして配置する。

9. 競技規則(ローカルルール)

- 本大会は「日本トライアスロン連合競技規則/運営規則」及び以下の「ローカルルール」が適用されます。
- ルールに違反している選手を確認した場合の対応

カテゴリー	違反時の対応
スプリントの部 一般の部	・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告
選手権の部	・HR へ報告し裁定を仰ぐ

1. 全般

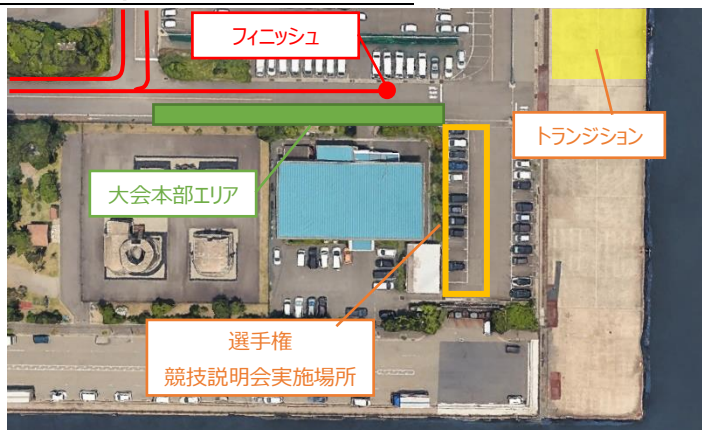
- 観客・支援者の制限(COVID-19 対策)
 - 本大会は、有観客とし、支援者の人数制限を設けない。
- アクションカメラ (GoPro 等) を着用してレースに出場することはできない。バイクへの装着も不可。
- 「自転車」・「自転車(競技用)ヘルメット」・「自転車及びランニング用シューズ」は、大会当日に選手自身で持参すること。忘れた場合はレースには参加できない。(当日の貸し出しは無し)
- 選手への個人的援助は禁止。
- 表彰式は、アナウンスのみで実施する。(対象者を通知する)
- リザルトは大会会場での掲示は実施しない。大会終了後、KnTU ホームページにてリザルトを公開する。
<https://www.kn-tu.or.jp/>
 ※大会翌日 7/4(月)、What's New へ掲載予定
- 完走証は、7/6(水)頃から KnTU ホームページよりダウンロード用 URL を公開する。

2. 競技説明会

- スプリントの部/一般の部は、事前にオンライン競技説明会の動画をインターネット上に公開、選手が視聴し、理解度をチェックする形式とする。
大会当日はアナウンスにて、注意事項および当日の変更点等を説明する。
- 選手権の部は、大会当日に会場にて競技説明会を実施する。
- 大会当日の対応は以下の通りとする。

カテゴリー	大会当日の競技説明会
スプリントの部 一般の部	・アナウンスにて競技説明会を実施する。 <時間> 08:35～08:40 ※競技全般の注意事項、当日の変更点等を説明する。
選手権の部	・スイム受付付近エリアにて実施する。 <時間> 女子：10:50～11:00 男子：11:20～11:30 ※ウエットスーツ着用可否、当日の変更点等を説明する。

<選手権の部 競技説明会実施場所>

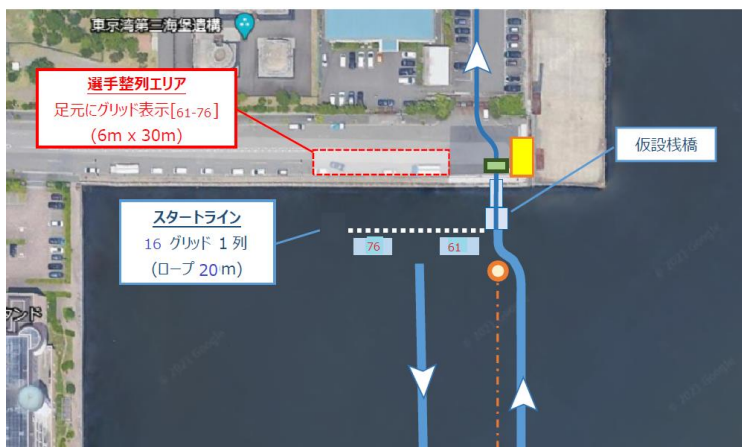


3. スイム

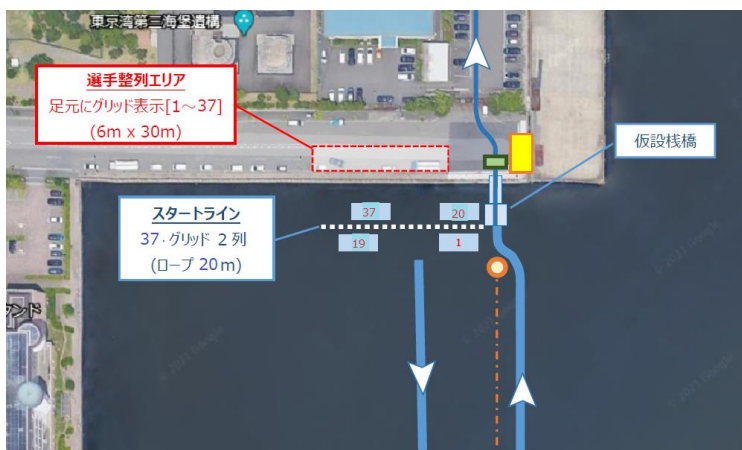
■ スタート手順

カテゴリー	スタート手順
スプリントの部 一般の部	・ローリングスタート 5 秒おきに 2 人ずつスタート(計測ポイントを踏んでから計測開始)
選手権の部	・フローティングー斉スタート <詳細手順> ① MC がレースナンバー順に選手をコールする。 ② コールされた選手は「選手整列エリア」(陸上)の足元に表示のスタートグリッドを選択する。 ③ 全員整列後、先頭から順番にスロープを降りて入水する。(マスクを廃棄する) ④ ロープに表示されたグリッドを掴み、仮設栈橋側のスターターを見て待機する。 グリッド 1~19 は、ロープを左手で掴み前列に待機 グリッド 20~37 は、ロープを右手で掴み後列に待機 ⑤ 全員がロープを掴んで待機したことを確認し、ホーンで一斉スタートする。

<選手権の部(女子) スタートエリア 12:30>



<選手権の部(男子) スタートエリア 13:40>



- 不正スタート(フォールス・スタート)
 - 選手権の部においては、フォールス・スタートの選手は、第 1 トランジションにて 15 秒間のタイムペナルティを科す。
- ウェットスーツの着用基準は以下の通り

カテゴリー	ウェットスーツの着用基準
スプリントの部 一般の部	トライアスロン用のウェットスーツ着用必須 ※ラッシュガードは不可 ※未着用の場合は、スイムスキップでの競技継続を認める。
選手権の部	水温 20.0℃以上：着用禁止 水温 16.0℃～19.9℃：着用許可 水温 15.9℃以下：着用必須 ※水温はスタートの 1 時間 10 分前に測定し、1 時間前に着用可否を発表する。 <女子> 測定：11:20、着用可否公表：11:30 <男子> 測定：12:30、着用可否公表：12:40 ※強風、大雨、温度変化など気象条件により、技術代表 (TD) とメディカル代表は、スイム距離やウェットスーツの使用可否を決定する。

- スイムスキップ
 - 本大会では、スプリントの部、および、一般の部において、スイムスキップを認める。
 - スイムスキップを希望する選手は、当日スイム招集エリアにてスイムスキップを申告する。
 - アンクルバンド受領後、スタートの計測マットを通過していない選手についても TO・審判員へ申し出ることスキップを認める。その場合は、アンクルバンドを一旦 TO・審判員へ返却し、バイクスタート時刻に合わせてトランジションスキップゾーンへ集合する。
 - バイクスタート時刻は、各カテゴリーのスイム競技終了後(制限時間後)を目安とする。
 - バイク・ランのタイムは計測するが、参考記録扱いとし表彰対象にはしない。

カテゴリー	受付時刻	受付場所	バイクスタート時刻	スタート場所
スプリントの部	08:40	スイム招集エリア	9:40	トランジション スキップゾーン
一般の部	09:30	スイム招集エリア	10:50	トランジション スキップゾーン

- スイム試泳
 - 本大会では仮設栈橋の密防止の観点から、全カテゴリーにて試泳は実施しない。
 - スイム競技に不安のある選手へは、スイムスキップを推奨する。
 - 選手は陸上での十分なウォーミングアップを実施し、事前にシャワーを浴びてスタートする。
- 仮設栈橋のスロープの定員を、安全上の理由により同時に最大 10 名までとする。
 - 競技中であっても、一時的にスロープの移動に制限をかける場合がある。
- 仮設栈橋のスロープは、歩いて落ち着いて移動する。
- レスチューブの使用については以下の通り
 - スプリントの部、および、一般の部にて使用可能とする。
 - レスチューブを使用した選手は、DNF とする。
 -

■ ボディナンバリング

➤ 当日配布されるボディナンバーシールを指定箇所に貼り付けること

選手権の部：4枚（両腕・両足）

スプリント/一般の部：2枚（両腕）

- 仮設栈橋からの飛び込みは禁止とする。足から入水する。
- スイムでは、支給されたスイムキャップを必ず着用する。
- 足ひれ、パドル等の推進補助具の使用は禁止する。
- 危険回避及び体調保全のため、コースロープにつかまり小休止することは可能。ただし、コースロープ等をつかんで勢いをつけるなどは禁止する。
- 救助を必要とする場合は、競技を停止し、片手を頭の上で振り、声を出して救助を求める。

<パラ選手対応>

スプリントの部No.346 鹿沼選手は視覚障害のためガイドと泳ぎます。安全を確保するため、スプリントの部の最後尾からスタートすることとします。

4. バイク

■ ドラフティングの扱いは以下の通り

カテゴリー	ドラフティングの扱い
スプリントの部 一般の部	禁止 <ドラフティング違反時の対応> ・「イエローカード」を提示し、レース展開や周囲の安全管理を考慮した場所以てストップ&ゴーのペナルティ対応を行う。 *JTU 競技規則 第 108 条 但し、レース展開や周囲の安全管理上、ストップ&ゴーが困難な場合には、ペナルティボックスでのタイムペナルティとする（スプリント 1 分、一般 2 分）
選手権の部	許可（ドラフティングレース） ただし、異なる性別間でのドラフティング、周回遅れになった際、追い越された選手または集団にドラフティングを行う事を禁止する。（違反の場合はランペナルティボックスにて 2 分間のタイムペナルティ）

■ 選手権の部の周回遅れ

- 本大会はラップされて周回遅れとなった選手についても、競技の継続を認める。
- 異なる性別間でのドラフティングは認めない。
- ラップされた選手は、先頭へのドラフティングは不可とするが、そのままレースを継続することができる。
- ラップされた選手または集団に対し、ドラフティングを行った選手については、ランペナルティボックスにて、2 分のタイムペナルティを科す。
- ラップされた選手同士のドラフティングについては、これを認める。（ローカルルール）

■ バイク競技に使用する自転車は以下の通り

カテゴリー	自転車
スプリントの部 一般の部	ロードレーサー、TT バイク（左記以外の自転車では参加不可）
選手権の部	JTU 競技規則に準拠

※『固定ギヤ車』『ブレーキ無し車』など、競技者に危険を及ぼす恐れのある自転車の利用は厳禁

■ ホイールステーション用のホイールの預託・返却(選手権の部)

- トランジションチェックイン時(11:00~12:00)に、トランジションエリアにてホイールステーション担当の TO へ預託する。
- 預託されたホイールは TO が車で運搬し、GRANDRIVE のホイールステーションへ設置する。
- 選手権の部男子のバイク競技終了後、TO が車でトランジションエリアへ運搬し、その後選手へ返却する。
- **汎用ホイールは用意しない。**

■ ラップオーダーは配置しない(選手権の部)

- 周回数管理は選手自身で行う。

■ バイク試走

- 本大会では密防止の観点から、全カテゴリーにてバイク試走は実施しない。
- 選手は、事前にコースマップ等にて、コース・周回数を把握して出場すること。

■ 走行中の「前方注意」「車間距離の確保」は選手義務。

- 「キープレフト(左側走行)」にて競技する。(左端から 1m、コース幅の左側 3 分の 1 以内を基準)
- 追い越しは、後方確認し前走者の右側から行う。
- ドラフティングゾーンは**前方選手の前輪先端から後方 10m**の範囲。バイクは約 2m であるため、4 台分の車間距離。
- 他競技者のドラフティングゾーンに入れるのは、「追い越そうとしているとき(20 秒以内)」、「危険回避の場合」、「トランジション出入口」など。
- 追い越し中は追い抜く意思を持って「前進」している必要がある。そのため、ドラフティングゾーン内では、前走の競技者と同一スピードを保ったままではならない。また、追い越されたらすぐに抜き返したり背後についてはならない。
- バイクコースのグランドライブ手前の陸橋は安全のため、追い越しを行う場合については最大限の注意を払うこと。



- ヘルメットは『自転車専用』を必ず着用。「カスク」「ヘッドギア」等の利用は厳禁。
- バイクでは上下ウェアを着用し、規定のヘルメットを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用はファスナーを上げることで使用可。前ファスナーを下げたままでの競技を行うことは禁止。
- バイク競技中、レースナンバーは背中によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
※ ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。
- ナンバーベルト使用時には、レースナンバーが腰から上にくるように着用する。
- バイク用レースナンバーシールは、ヘルメットの前面とバイクサドル左下フレームに貼りつける。
- 交通規則を守り、表示看板、セイフティー・コーン、大会スタッフの指示に従って競技する。
- バイクパートでは、エイドステーション無し。
- 「ペットボトル」をバイクボトルホルダーに入れて競技を行うことは禁止。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- スマートフォンのバイクへの取り付けは、GPS/サイクルメーターとして使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
- バイクの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。
- 周回数の確認は選手自身で行う。周回チェックポイントでは、自身の周回数をスタッフに確認することはできない。
- 周回数確認のため、サイクルメーターの装着を推奨する。

<パラ選手対応>

スプリントの部No.346 鹿沼選手は視覚障害のためタンデムバイクになります。GRANDRIVE 手前の陸橋を問題なく往復できるかどうか、当日朝確認してもらってください。

5. ラン

- 選手権の部のエイドステーションにおいては、リタリングゾーンを設置する。
 - リタリングゾーンのエリア外にてゴミを捨てた選手にはタイムペナルティ 15 秒を科す。
- ラップオーデーターは配置しない(選手権の部)
 - 周回数の管理は選手自身で行う。
- ランでは上下ウェアを着用すること。「上半身はだか」での競技禁止。
- 前開きファスナー付ウェアの着用は可。但し、前ファスナーを下げたままで競技を行うことは禁止。
- ランではシューズを着用すること。「裸足」での競技禁止。
- ラン競技中、レースナンバーは前面によく見えるよう着用する。レースナンバーの改造、折曲げは厳禁。
- ナンバーベルト使用時には、レースナンバーが腰から上にくるように着用する。
- 自力走行により、規定コースを競技する。
- キープレフトを厳守し、右側から追い越す。
- ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま競技を行うことは禁止。
- スマートフォンを携帯して競技することは、GPS として使用する場合に限り許可する。通話や撮影に使用することは禁止。
- ランの周回チェックはアンクルバンドによる「機械周回チェック」を行う。(輪ゴムの配布は実施しない)

6. トランジション

- トランジションのタイムは、バイクパートの競技時間に含まれる。
- トランジションエリア内に、競技者および特別に許可を受けた者以外の立入禁止。選手の支援者が入ることはできない。
- バイクラックに目印をつけることは禁止。
 - ※ トランジションエリアにセットするもの：自転車、ヘルメット、シャツ、シューズ、帽子、タオルなど
- ヘルメットは、ストラップをはずした状態でセットしておく。
- ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後はバイクを掛けてからストラップを外す。
- トランジションエリア内はバイク乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- バイクの乗車・降車の方法は下記のとおり。
 - <乗車> バイク前輪の先端が乗車ラインを超え、片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車する。
 - <降車> バイク前輪の先端が降車ラインを超える前に、降車ライン手前の地面に、片足が完全についてから降車する。

7. フィニッシュ

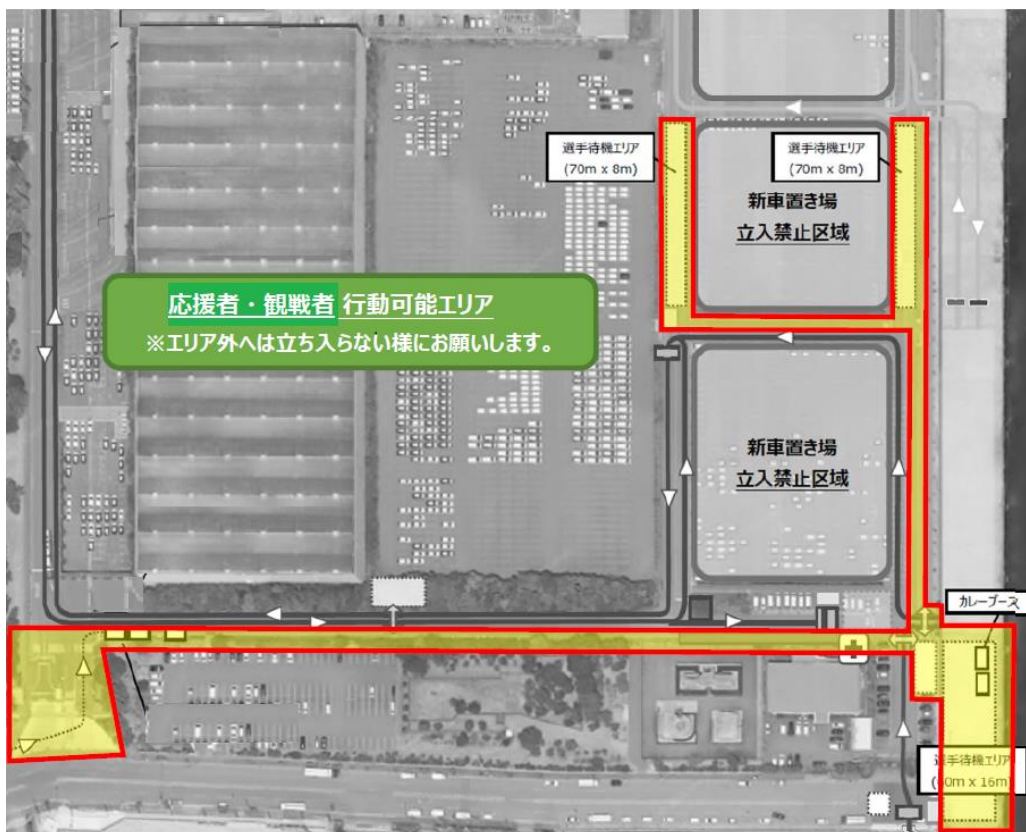
- フィニッシュにおける意図的な同着は禁止。
- 同伴フィニッシュは禁止。
- 着順は、計測チップがフィニッシュライン上に達した瞬間とする。
- 選手権において複数の競技者がほぼ同時にフィニッシュする場合については、フィニッシュ TO が判定を行う。
 - ※ 競技者の胴体の一部がフィニッシュラインを通過した瞬間を判定する。
- 明らかに周回不足と判断される場合には完走扱いとしない。
- 周回数が規定数以上の場合(多く周回してしまった場合)でも順位の繰り上げ措置は実施しない。
- フィニッシュエリアは、選手・関係者以外立ち入り禁止とする。
- フィニッシュした選手は、以下の流れで一方通行で行動しフィニッシュエリアを退出する。
 - 自らアンクルバンドを外して所定の回収箱へ入れる。
 - 水とマスクを受け取り、その場でマスクを着用する。
- フィニッシュエリア内で、選手間の会話は自粛する。

8.

8. その他大会ルール

- 荷物預かりは車の鍵のみ。大会本部にて預かる。
- 荷物は基本的に個人にて管理する。
- 貴重品預かりはなし。
- 更衣テント内は定員 4 名とし、ソーシャルディスタンスを保って使用する。
- 選手以外の支援者が会場内で移動できる範囲は、以下とする。

<応援者・観戦者行動可能エリア>



10. TO 業務

1. TO 共通事項

■ ミーティング関連

- 1) 競技開始前(TO 集合時)
TO ミーティング参加。 ※当日 06:30 の TO ミーティングは、パート毎にチーフが取りまとめて実施する。
- 2) 競技終了後
TO ミーティング参加、審判結果報告。

■ 運営関連

- 1) コース設営確認・セッティング
各ポジションの配置についたら、コースの設営状況を確認し、必要に応じて競技実施の観点からコーンや案内板などのセッティングをしてください。

■ 競技関連

- 1) ルール違反に対する対応
注意/警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を詳細に記録してください。その後、審判長に報告し裁定を待ってください。
- 2) 計測・周回確認
計測はアンクルバンドで行います。
個人の周回確認は自己責任で行うよう回答してください。
- 3) リタイア時の対応
リタイア時の対応は、レースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収してください。
TO はアンクルバンドを直接触れず、ビニール袋へ入れて封をして下さい。
選手へはフィニッシュエリアへ戻りマスクを受け取るよう指示してください
大会本部に無線もしくは携帯電話にてレースナンバーをリタイア理由と共に報告し、競技終了後アンクルバンドを返却してください。
- 4) 競技規則・ローカルルール
JTU 競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技運営します。

2. 審判長(HR)

■ 担当業務

- 1) 審判団統括
- 2) TO ミーティングの招集と統括
- 3) 競技開始前の競技説明
- 4) スターター
- 5) 競技リザルトの確認及び承認。 ※確認が必要な選手を呼日出して直接確認。
- 6) TO ミーティングでの競技規則違反者裁定(警告/失格)と公表

3. スイム

<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチーフが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイム用備品の確認 ・シャワー・エイド用の水道確認 ・仮設栈橋・重機設置場所の確認 ・選手待機エリアの確認（ソーシャルディスタンス確保） ・選手権スタートロープの準備(ナンバリング) ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
1	水温・気温の計測	<ul style="list-style-type: none"> ・水温・気温を計測し、TD へ連絡する。 <p>07:50：スプリントの部/一般の部/ 11:20：選手権の部(エリート女子) 12:30：選手権の部(エリート男子)</p>
2	スイムコース・エリア設営	<ul style="list-style-type: none"> ・スイムエリアの設営、カテゴリー別のコース転換（ライフセーバーへの指示） ・ブイ設営サポート、計測ポイント確認 ・選手待機エリアの設営 ・トランジションへの導線設営 ※トランジションパートと連携 ・アンクルバンド受け渡し場所の設置 ・待機エリア入口のシャワーおよびエイドステーション設置（水は共用する） ・スイムスキップ受付場所の設置 ・メガネ預かり所の設置 ・消毒用エタノールの配置 ・マスク用ゴミ箱の設置（仮設栈橋・計測マットの手前）
3	スイム受付	<ul style="list-style-type: none"> ・アンクルバンド配布 ・ボディナンバリングの確認 <p>選手権の部：4枚(両腕・両足) スプリント/一般の部：2枚(両腕)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機選手のソーシャルディスタンス確保・整列
4	スキップ受付	<ul style="list-style-type: none"> ・スキップ選手の受付・管理 <p>⇒アンクルバンド受け渡し場所を、スキップ受付と兼ねる。 ⇒アンクルバンド受け渡し後も、スタートの計測マットを通過していない選手についても TO・審判員へ申し出ることスキップを認める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキップ選手リスト・アンクルバンドのトランジションパートへの連携
5	ウォーミングアップの指示	<ul style="list-style-type: none"> ・試泳を実施しないことに対する、対応を指示する。 <p>⇒待機エリアにて、十分なウォーミングアップを促す。 ⇒待機エリア入口にシャワーを用意し、上から放水する。</p>
6	マスク廃棄管理	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク廃棄用のゴミ箱の管理・ゴミ袋の入れ替え <p>(入水前に選手が自らゴミ箱へ捨てる)</p>
7	スタート管理	<p><スプリントの部、一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイミングスタートのコントロール（5秒ごとに2人ずつスタート） <p>※スタートの計測マットの5m以上後方から選手をスタートさせる。</p>

No	業務	詳細
		(計測マットの誤反応を防ぐため) <選手権の部> ・スタートグリッド(陸上)のマーキング ・スタートグリッド(陸上)への選手誘導とスタートグリッド記録 ・スタートビデオの撮影(フォールス・スタートの監視) ⇒2カ所から撮影する(仮設栈橋・岸壁)
8	仮設栈橋・スロープの管理	・スロープ上の選手人数コントロール ⇒仮設栈橋のスロープの定員は、安全上の理由により同時に最大10名 ・歩いて移動するよう指示する。 ・選手の入水時は足から入るよう指示する。 ・海からポンツーンへの上陸選手サポート ⇒ 支援が必要な選手を引き上げる
9	スイム競技審判	・ルール違反時の対応 <スプリントの部、一般の部> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合はHRへ報告 <選手権の部> ・HRへ報告し裁定を仰ぐ
10	水上監視	・IRBに乗船し水上監視(安全管理、ショートカット確認) *水上でのビデオ撮影は実施しない
11	出水人数確認	・リタイア・タイムオーバー選手を把握し、出水人数を確認する。 ⇒ネオシステムさんの記録で確認する。
12	スイムアップ後のコントロール	・トランジションエリアまでの導線コントロール
13	エイドステーション管理	・スイム受付付近に1カ所設置(待機エリア入場前の給水が多い) ・消毒用エタノールの配置 ・COVID-19感染対策として、下記のオペレーションとする。 紙コップへ水を入れてテーブルに置き、選手が自らピックアップする。 紙コップへの給水と紙コップ回収は担当を分けて対応する。
14	リタイア選手対応	<マスク着用の依頼> ・リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良いTOには、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っているTOが近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <アンクルバンドの回収> ・TOがアンクルバンドを回収する。TOは直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
15	横断路管理	・横断路のコントロールを行う。 <対象の横断路(2カ所)> ※対応時間/場所は、「横断路管理」の項を参照 ・「①スイムアップ導線②ランスタート導線 横断路」
16	救護対応	・救護を要する選手をライフセーバーから仮設栈橋にて引き受ける。 ・選手に触れる場合は手袋を着用する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート

No	業務	詳細
17	応援者・観戦者のコントロール	・応援者・観戦者がスイム待機エリア・競技エリアへ入らないようコントロールする。

4. バイク

<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチームが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイク用備品の確認 ・コース上の危険箇所確認 ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
1	モーターバイクの管理・運用	<ul style="list-style-type: none"> ・バイク TO 用のモーターバイクの管理と運用 ・大会実行委員会にて、125cc を 2 台レンタル予定
2	バイクコース設営	<ul style="list-style-type: none"> ・バイクコースの設営 ・乗降車エリアの設営。(乗車ライン:緑、降車ライン:赤) ※トランジションパートと連携 ・カテゴリー別のコース転換 ⇒GRANDRIVE の周回方法がカテゴリーごとに異なるので注意 ・パラ選手対応
3	先導	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの先頭選手をモーターバイクで先導する。 ・無線で情報を連絡する。
4	最終選手の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの最終選手を確認し、無線で情報を連絡する。
5	GRANDRIVE 前の陸橋の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・追い越しの際の安全・注意喚起の徹底
6	危険箇所の誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・バイクコース上の危険箇所にて、選手の誘導を厳重に実施する。 ⇒カラーコーンを設置して明確な誘導・注意喚起をする。 ⇒当日危険箇所を確認し、必要に応じて TO を配置する。
7	危険走行・キープレフトのチェック	<ul style="list-style-type: none"> ・危険走行・キープレフトが遵守できていない選手へ注意し是正を促す ※原則として声を出さず、ホイッスルとジェスチャーで注意を促す。
8	ドラフティングのチェック	<p><スプリントの部、一般の部> *ドラフティング禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラフティング違反に対しては「イエローカード」を提示し、ストップ&ゴーのペナルティにて対応する。(JTU 競技規則 第 108 条) 但し、レース展開や周囲の安全管理上、ストップ&ゴーが困難な場合には、ペナルティボックスでのタイムペナルティとする (スプリント 1 分、一般 2 分) <p><選手権の部> *ドラフティング可(ラップ選手:競技継続可・ドラフティング禁止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラップされた選手同士のドラフティングチェック
9	バイク競技審判	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反時の対応 <p><スプリントの部、一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告 <p><選手権の部></p>

No	業務	詳細
		・HR へ報告し裁定を仰ぐ
10	リタイア選手対応	<p><マスク着用の依頼></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <p><アングルバンドの回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TO がアングルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
11	救護対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
13	応援者・観戦者のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・応援者・観戦者がバイク競技エリアへ入らないようコントロールする。 <p>⇒バイク競技エリアは、応援者・観戦者立入禁止</p>

5. ラン

<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチーフが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラン用備品の確認 ・コース上の危険箇所確認 ・選手権の部ランコースの距離測定 ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
1	ランコース設営	<ul style="list-style-type: none"> ・ランコースの設営 ・選手権時の折返しポイント転換作業
2	先導	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの先頭選手を自転車で先導する。 ・無線で情報を連絡する。
3	最終選手の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・各カテゴリーの最終選手を確認し、自転車で最後尾を追尾する。 ・無線で情報を連絡する。
4	ラン競技審判	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール違反時の対応 <p><スプリントの部、一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手への是正指導 *注意を促しても是正されない場合は HR へ報告 <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・HR へ報告し裁定を仰ぐ
5	横断路管理	<ul style="list-style-type: none"> ・横断路のコントロールを行う。 <p><対象の横断路(3カ所)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランジション出口 ・ランコース横断路 ・更衣テント前横断路

No	業務	詳細
		※対応時間/場所は、「横断路管理」の項を参照
6	リタイア選手対応	<p><マスク着用の依頼></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <p><アングルバンドの回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・TO がアングルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
7	救護対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート <p>※連絡先は、本マニュアルの「緊急時対応」の項を参照</p>
8	応援者・観戦者のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・応援者・観戦者が競技エリアへ入らないようコントロールする。 ・応援者・観戦者のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。 ・応援者・観戦者行動可能エリア外へ、立ち入らないようコントロールする。 <p>(*行動可能エリア図参照)</p>

6. トランジション

<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチーフが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランジション用備品の確認 ・入場待機エリアの場所確認 (現地状況に応じて現場で判断) ・コース上の危険箇所確認 ・トランジション内及び隣接エリアの設営 <p>※コーン・バーの設置及び看板・ガムテープ表示等の設営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
1	トランジションエリア設営	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降車エリアの設営。(乗車ライン:緑、降車ライン:赤) ※バイクパートと連携 ・スイムアップ側のエリアの設営。 ※スイムパートと連携 ・リレーゾーンの設営。 ・消毒用エタノールの配置(トランジションエリアの出入り口) ・1 つのバイクラックに対して、両掛けは 5 台、片掛けは 3 台とする。 ・危険な箇所を確認した場合には、安全が確保できるよう設営する。 ・選手権の部ではカゴを設置する。 ※強風でカゴを設置出来ない場合は、50cm のエリアを白線で表示する。
2	トランジションオープン時間管理	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムテーブルに従って、トランジションをオープンする。

No	業務	詳細
		<ul style="list-style-type: none"> ・バイクピックアップのオープン時刻を、タイムテーブルを基準にコントロールする。 ※レース状況を確認してチーフが最終判断し、MC へ放送を依頼する。 ※安全が確認できれば、チーフ判断にてオープン時間を早める。
3	トランジション入場者管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入場待機エリアを設定する。 ・ソーシャルディスタンスを確保して整列し、1 人ずつ入場できるようにする。 ・受付完了者のみ入場可能とする。 ・競技者および特別に許可を受けた者以外の立入を禁止する。 (原則として、選手支援者の立入は禁止)
4	バイク・ヘルメットチェック	<p><スプリントの部、一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目視でのバイクチェックを基本とする。(ブレーキ、突起物、ストラップ確認等) ・スマートフォンの確認 GPS/サイクルメーターとして使用する場合のみ装着可能 装着する場合は、「通話・撮影はできない」ことを伝える <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目視でのバイクチェックを基本とする。 ・DH バーの確認は確認用ボードを使用する。 ※板などで代用可 ※やむを得ずバイク・ヘルメットを触れた場合は、都度消毒を実施する。
5	ペットボトルの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトルホルダーにペットボトルを装着している場合には、外すよう指示する。 ・選手がいけない場合は、TO が取り外す。
6	トランジションエリア内管理	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の禁止を徹底する。会話している選手に対しては TO より自粛を促す。 <p><スプリントの部、一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技中の選手へソーシャルディスタンスを確保し、落ち着いた行動を促す。 <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペナルティ対象の違反を確認した場合は、レースナンバーを記録し HR へ報告する。 ・ペナルティ対象となる証拠の写真を撮影する。
7	バイクピックアップ入場者管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入場待機エリアを設定する。(バイクチェックイン時と同様の設定) ・ソーシャルディスタンスを確保して整列し、1 人ずつ入場できるようにする。 ・受付完了者のみ入場可能とする。(リストバンドの着用を確認する) ・バイクピックアップにて、レースナンバーを照合する。
8	バイク乗車・降車ライン管理	<p><スプリントの部、一般の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗降車ラインにて、選手へ安全な乗降車を促す。 <p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗降車ラインにて、旗で注意を促す。 ・乗降車ラインの状況を動画で撮影する。(違反の確認に使用する)
9	フォールスタートペナルティ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権の部にて、フォールスタートペナルティの対象選手に対して 15 秒ペナルティを宣告し対応する。(HR からの指示にて対応する。) ※ペナルティボックス担当 TO がサポートに入る。
10	スキップ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・スキップ選手リスト・アンクルバンドを、スイムパートより連携を受ける。 ・スキップ選手受付を実施し、アンクルバンドを配布する。 ・指定の時刻にスキップゾーンから選手をスタートさせる。

No	業務	詳細
		・スタート時刻をネオシステムさんに連携する。
11	バイクラックの消毒	・バイクラック設営時に、消毒用エタノールで清拭する。
12	選手権の部フィニッシュテープ対応(フィニッシュ支援)	★フィニッシュパートの支援 (2名) ・選手権の部のトップ選手フィニッシュ時に、フィニッシュテープ対応を実施する。 (女子：14:40 頃、男子：15:40 頃、スタンバイする)
13	リタイア選手対応	<マスク着用の依頼> ・リタイア選手用に予備のマスクをチーフが管理し、予備を持っていたほうが良い TO には、必要に応じてチーフが予め配布する。 ・リタイア選手にマスクを渡し着用を促す。 ・予備のマスクを持っている TO が近くにいない場合には、フィニッシュエリアへ案内する。(マスクを受け取り着用するよう指示する) <アングルバンドの回収> ・TO がアングルバンドを回収する。TO は直接触れず手持ちのビニール袋に入れて封をする。競技終了後、大会本部へ返却する。
14	救護対応	・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
15	応援者のコントロール	・応援者がトランジションエリアへ入らないようコントロールする。 ・トランジションエリア周辺にて、応援者同士のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。

7. エイドステーション

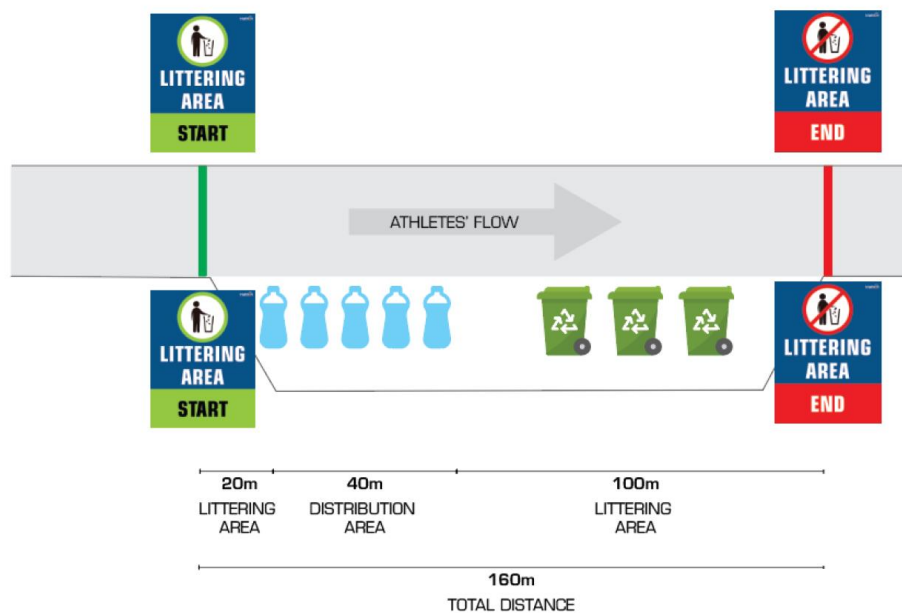
<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<前日参加のチーフが対応> ・エイドステーション用備品の確認 ・エイドステーションの場所確認 ・エイド用の水道確認 ・リタリングゾーンの距離計測、マーキング(選手権の部のみ) ・危険箇所確認 ・その他、運営上の支障が無いかの確認 ※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。
1	エイドステーション設営	・エイドステーションの設営 ・リタリングゾーンの設定 ・危険な箇所を確認した場合には、安全が確保できるよう設営する。
2	エイドステーション管理	<スプリントの部、一般の部> ・ランコース上に 1 か所設置 (コース図参照) ・消毒用エタノールの配置 ・COVID-19 感染対策として、下記のオペレーションとする。 紙コップへ水を入れてテーブルに置き、選手が自らピックアップする。 紙コップへの給水と紙コップ回収は担当を分けて対応する。

No	業務	詳細
		<p><選手権の部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランコース上に 1 か所設置 (コース図参照) ・未開封のペットボトルを選手へ提供する。(キャップは開けない) ・COVID-19 感染対策として、下記の実施方法とする。 ペットボトルをテーブルに置き、選手が自らピックアップする。 ペットボトルの配置と回収は担当を分けて対応する。 ・ゴミの拡散を防止するため、ゴミ袋に余裕がある状態で早めに縛る。

<選手権の部 エイドステーション設営イメージ>

➢ リタリングゾーン：エイドステーションの 20m 手前から、エイドステーションの 100m 後方まで。※看板で明示する。



8. ホイールステーション

<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチームが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホイールステーション用備品の確認 ・オペレーション方法確認。 (前日、GRANDRIVE 立入不可のため場所の確認は不可) ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
1	ホイール預託・返却対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権のトランジションチェックイン時(11:00~12:00)に、トランジションエリアにて選手からの預託を受け付ける。 ・競技終了後、トランジションエリアにて選手へホイールの返却対応を実施する。
2	ホイールの運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・選手から預託されたホイールを GRANDRIVE のホイールステーションへ運搬し、設置する。(本部の大会用車両を借りて運搬する。) ・選手権の部男子のバイク競技終了後、トランジションエリアへ運搬する。

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチーフが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホイールステーション用備品の確認 ・オペレーション方法確認。 <p>(前日、GRANDRIVE 立入不可のため場所の確認は不可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
3	ホイールステーション管理	・選手権の部の競技中に、ホイールステーションの管理・選手対応を実施する。
4	本部対応	・選手権のホイール預託開始(11:00)前までは、本部対応として、本部に依頼される業務を実施する。

<特記事項>

- ✓ 最近ではディスクブレーキが主流となっており、ホイールの着脱にアーレンキーが必要なため、ホイールステーション担当にて、**アーレンキーの持参**をお願いいたします。
- ✓ **2021WTCS 横浜大会にて、ホイールステーションにてディスクブレーキを着脱できず DNF となった事例**があるため、**対応方法の事前シミュレーション**をお願いします。
- ✓ **汎用ホイールは用意しません。**

9. ペナルティボックス

<担当業務>

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチーフが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペナルティボックス用備品の確認 ・ペナルティボックスの場所確認 ・危険箇所確認 ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
1	ペナルティボックス設営	・ランコース上にペナルティボックスのエリアを設営する。
2	ペナルティボックス対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ペナルティボックスの運営を行う。(2名) ・HRと連携し、ペナルティ発生時のレースナンバー・違反記号を掲示する。 ・ペナルティボックスにて停止した選手のペナルティタイムを計測する。 <p>⇒ペナルティ 1 件に対して 15 秒 ⇒但し、ドラフティング違反は 1 件に対して 2 分 (120 秒)</p>
3	フォールスタートペナルティのサポート (トランジション支援)	<p>★トランジションパートの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手権の部にて、フォールスタートペナルティの対象選手に対して 15 秒ペナルティの対応を、トランジションパートと連携して支援する。 <p>(女子：12:30 頃、男子：13:40 頃、スタンバイする)</p> <p>スタート時に HR と確認を行い、ペナルティの対応を行うようにする。</p>
4	ランパート対応	・スプリントの部、一般の部において、ランパートの業務を実施する。(ランパートチーフの依頼内容に対応する)

10. フィニッシュ

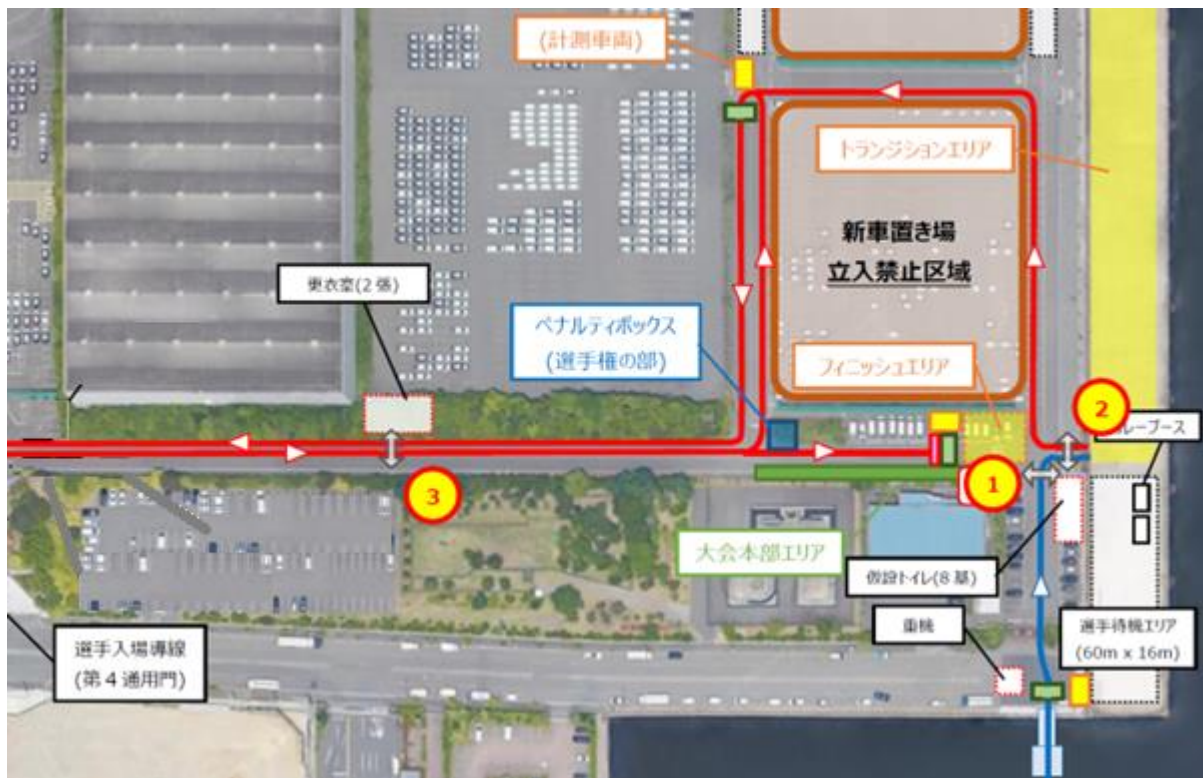
＜担当業務＞

No	業務	詳細
0	前日準備	<p><前日参加のチーフが対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュ用備品の確認 ・フィニッシュエリアの場所確認 ・危険箇所確認 ・その他、運営上の支障が無いかの確認 <p>※運営への支障が判明した場合は、実行委員会と代替手段を策定する。</p>
1	フィニッシュエリア設営	<ul style="list-style-type: none"> ★大会当日、実行委員長がエリア設営を監修する。 ・フィニッシュエリアの設営（関係者以外、立入出来ないよう設営する） ・消毒用エタノールの配置 ・カメラマンの撮影用エリアを確保する。 ・フィニッシュゲート通過後に、十分な広さを確保する。 ・「アンクルバンド回収」「水の提供」「マスクの配布」のエリアを設置する。 ・選手が一方通行となる導線を設定する。
2	フィニッシュストレート管理	<ul style="list-style-type: none"> ・同伴フィニッシュ禁止のコントロールをする。 ・「レースナンバーは前へ」「サングラスは外す」を促す。 <p>（TO を配置出来る場合は、声を出さずにジェスチャーで促す。）</p>
3	フィニッシュテープ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権の部、女子・男子それぞれの 1 位のみフィニッシュテープを使用し対応する。（その他の選手には、フィニッシュテープを使用しない） <p>・フィニッシュテープは、トランジションパートより 2 名の支援者が対応する。</p>
4	着順判定・記録	<ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュライン上で、着順判定を実施し記録する。
5	フィニッシュエリア管理	<ul style="list-style-type: none"> ・一方通行の導線をコントロールする。 ・選手同士が密にならないよう、落ち着いた行動を促す。
6	アンクルバンド回収	<ul style="list-style-type: none"> ・選手が自ら外し、回収ボックスに投入する。
7	水の提供（ペットボトル）	<ul style="list-style-type: none"> ・未開栓のペットボトルをテーブルに配置し、選手が自らピックアップする。
8	マスクの配布	<ul style="list-style-type: none"> ・袋に入ったマスクを 1 人 1 枚ずつ配布する。 ・担当する TO は、使い捨て手袋を着用する。 ・選手と TO が直接接触しないよう十分に注意して対応する。
9	横断路管理	<ul style="list-style-type: none"> ・横断路のコントロールを行う。 <p><対象の横断路(1カ所)> ※対応時間/場所は、「横断路管理」の項を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「①スイムアップ導線 横断路」
10	救護対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手に触れる場合は手袋を着用して対応する。 ・大会本部・メディカルへの連絡、引き渡し、搬送サポート
11	応援者・観戦者のコントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・応援者・観戦者がフィニッシュエリアへ入らないようコントロールする。 ・応援者・観戦者のソーシャルディスタンスを確保するようコントロールする。

11. 横断路管理

- 横断路管理に当たっては、各パートにアサインされているメンバーから 2 名を、対応時間にて横断路対応する。
- 各対応時間は、選手通過予想時刻を元に、前後のマーヅンを考慮した時間にて設定。

	スイムアップ導線横断路		ランスタート導線横断路		更衣室導線横断路	
	時間	担当	時間	担当	時間	担当
スプリント	9:00～ 9:33	フィニッシュ TO/VO× 2 名	9:40～ 10:30	本部 VO× 1 名 本部 TO× 1 名	9:40～ 11:05	本部 VO× 1 名 ラン TO× 1 名
一般	9:40～ 10:50	スイム TO/VO× 1 名 本部 TO× 1 名	11:20～ 12:35	本部 VO× 1 名 スイム TO× 1 名	11:10～ 13:50	本部 VO× 1 名 ラン TO× 1 名
選手権女子	12:30～ 12:55	スイム TO/VO× 2 名	13:50～ 14:05	本部 VO× 1 名 スイム TO× 1 名	13:50～ 14:45	本部 VO× 1 名 ラン TO× 1 名
選手権男子	13:40～ 14:05	フィニッシュ TO/VO× 2 名	14:55～ 15:10	本部 VO× 1 名 スイム TO× 1 名	14:55～ 15:45	本部 VO× 1 名 ラン TO× 1 名



11. コースマップ

1. スプリントの部



2. 一般の部



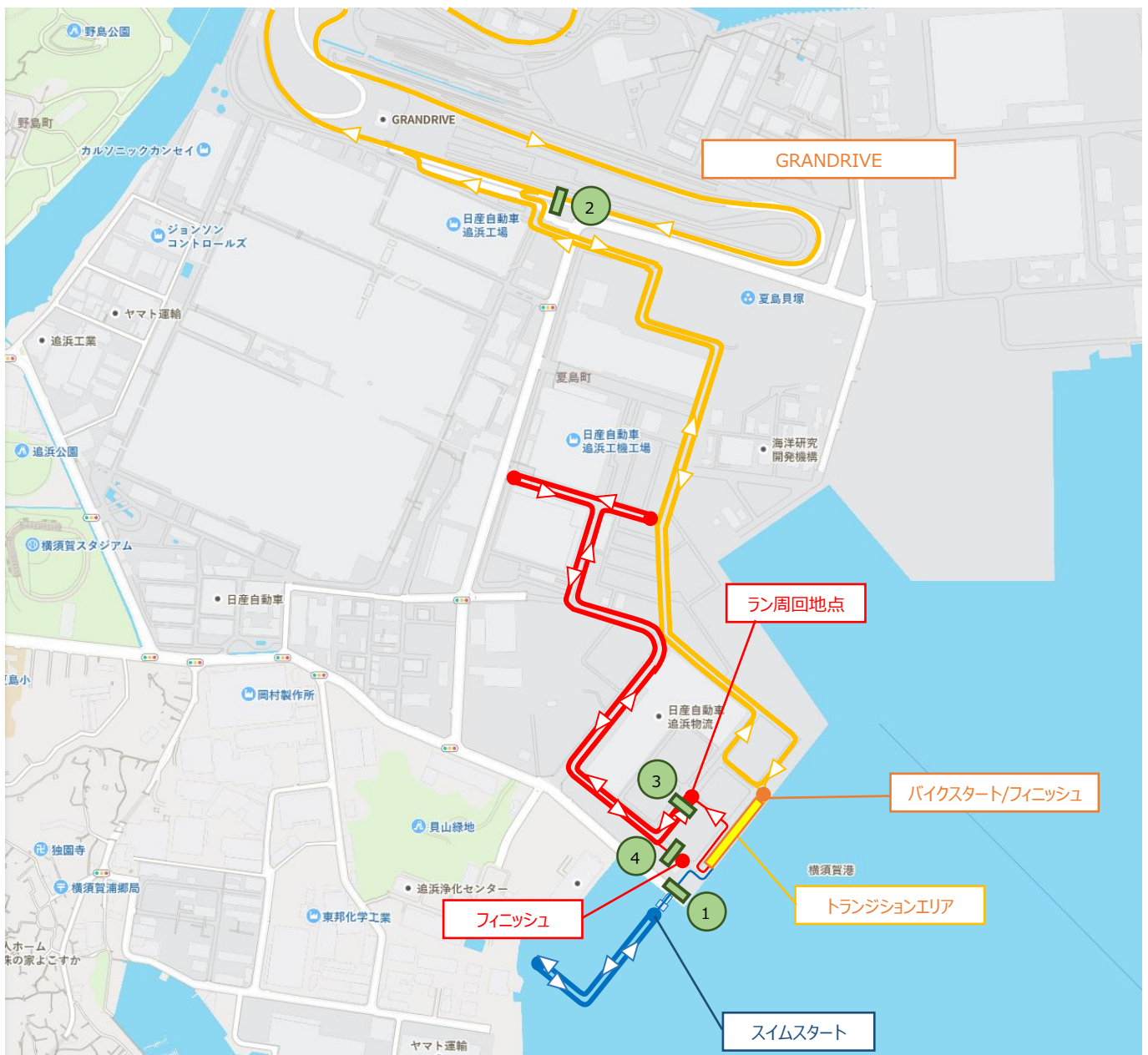
3. 選手権の部 (エリート女子・男子)



12. 計測ポイント

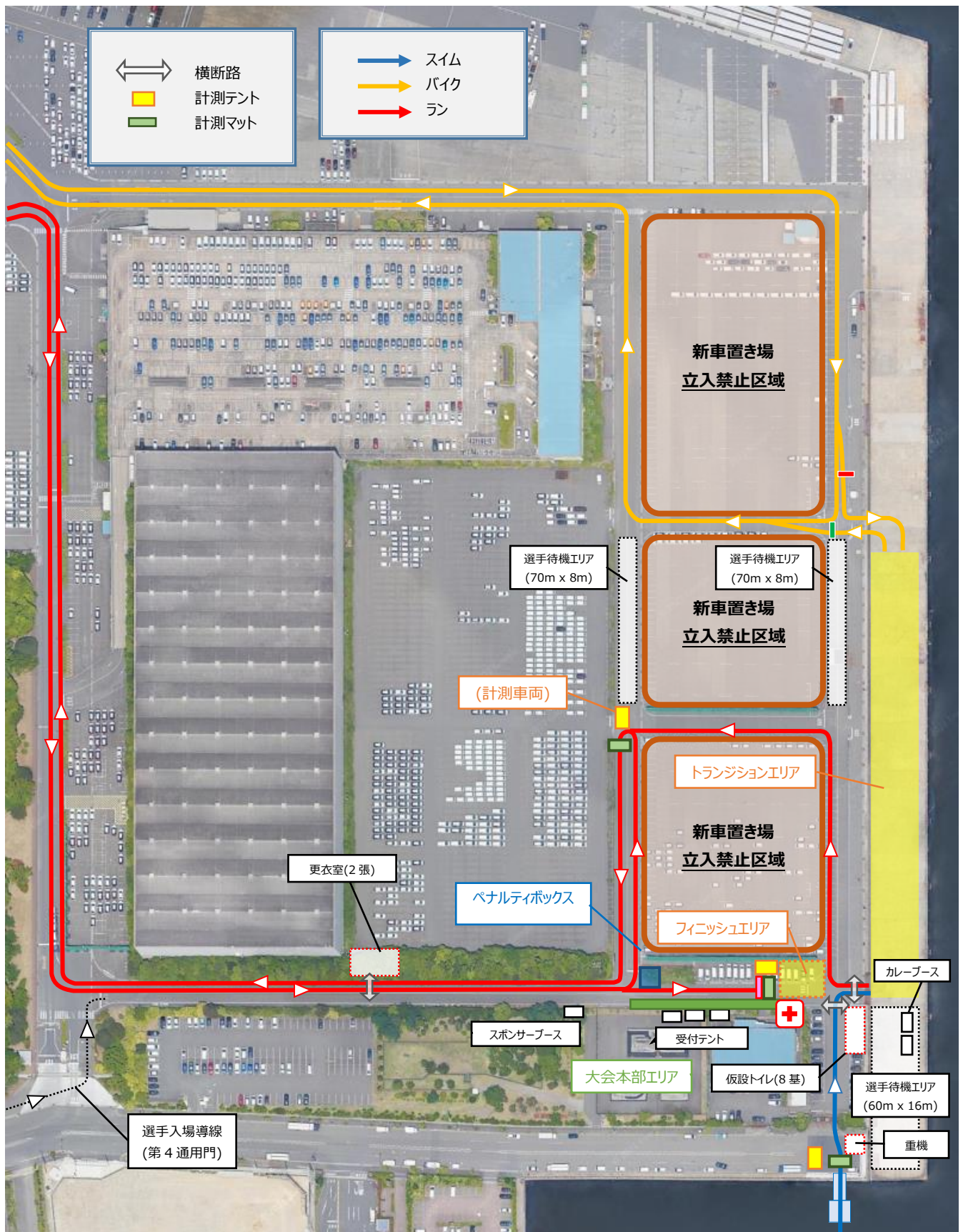
下記の 4 ポイントにて選手通過時のタイムを計測し、リザルトを集計する。

No	計測ポイント	スプリントの部	一般の部	選手権の部
①	スイムスタート	スイムスタート スイムフィニッシュ	スイムスタート スイムフィニッシュ	- スイムフィニッシュ
②	バイク周回	バイク周回チェック	バイク周回チェック	バイク周回チェック
③	ランスタート/ラン周回	ランスタート ラン周回チェック	ランスタート ラン周回チェック	ランスタート ラン周回チェック
④	フィニッシュ	ランフィニッシュ	ランフィニッシュ	ランフィニッシュ

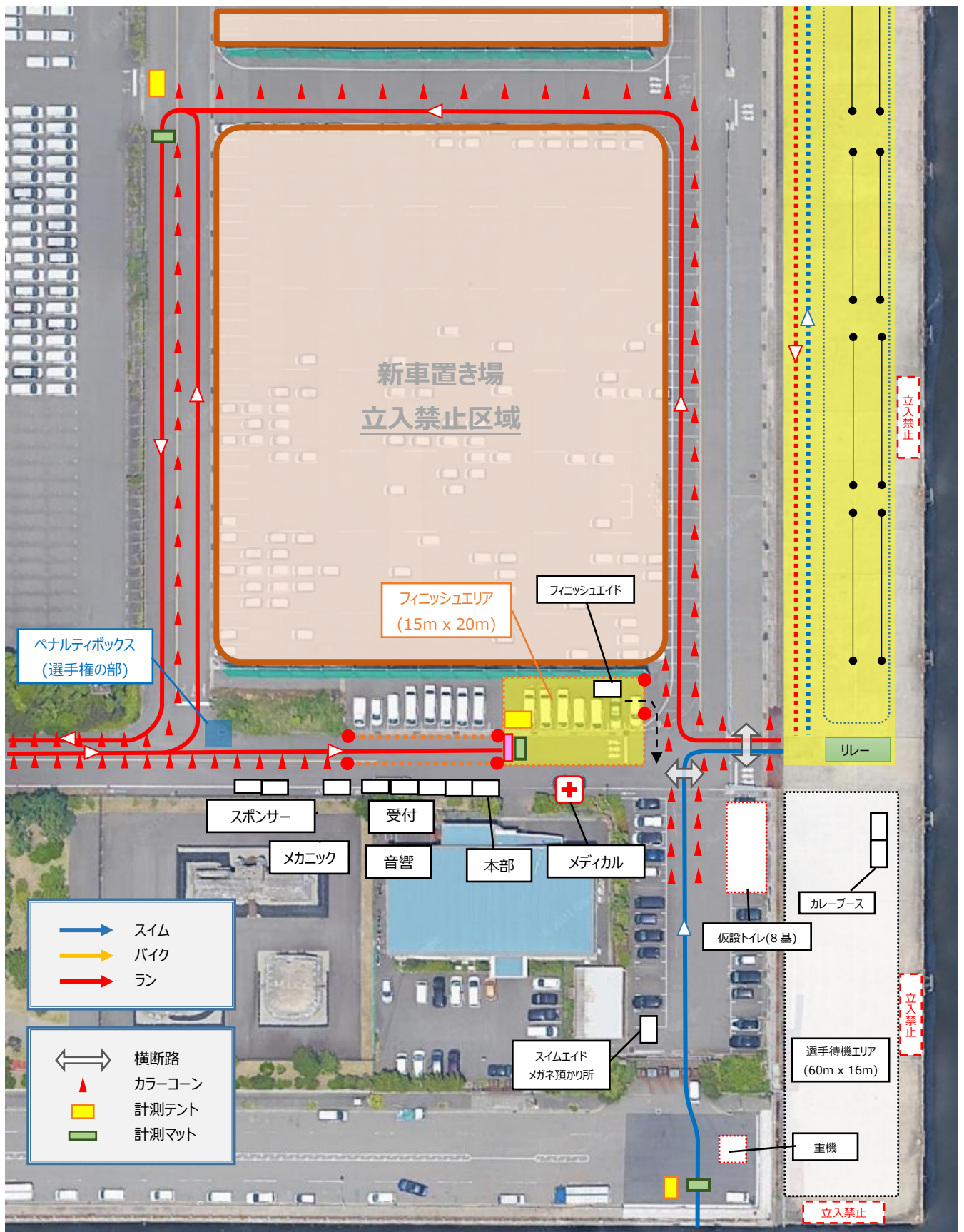


13. エリア詳細図

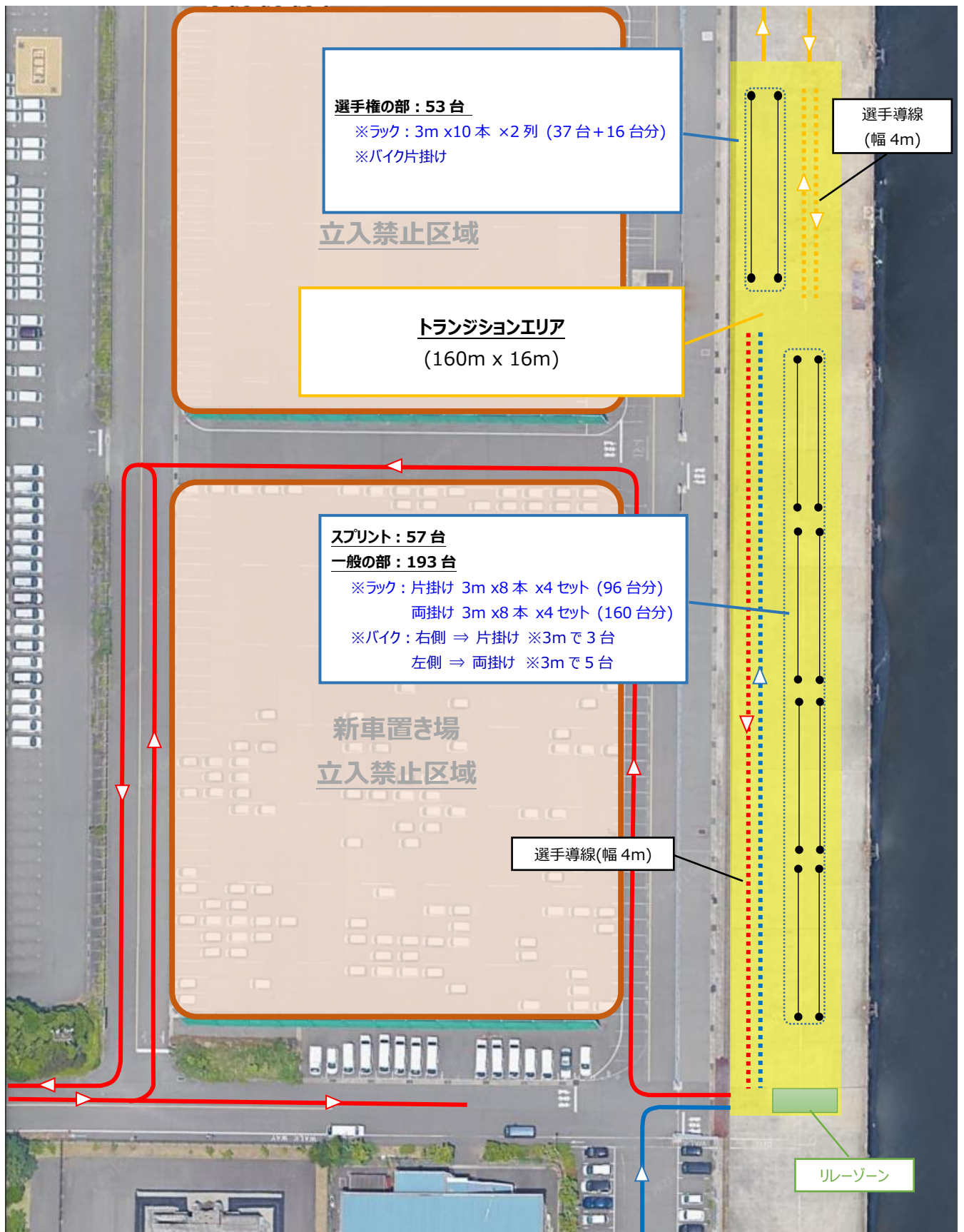
1. 大会本部エリア(広域図)



2. 大会本部エリア(フィニッシュ周辺詳細図)



3. トランジションエリア



4. スイムコース図/警戒配置図



折返し地点の浅瀬を回避するため、スタート後の直線部を沖寄りに設定する、L字の角を鋭角にする、などの対応を取る

改版履歴

版数	作成日	改版内容	改版者
第 0.5 版	2022 年 6 月 7 日	ドラフト初版作成。	松村
第 0.7 版	2022 年 6 月 12 日	リレーに関する記述を削除、選手向け最終案内との整合	松村
第 0.8 版	2022 年 6 月 13 日	トランジションにおけるフォールスタートペナルティに関する記述	松村
第 0.9 版	2022 年 6 月 22 日	6 月 20 日実行委員会指摘事項の修正	松村
第 0.91 版	2022 年 6 月 25 日	選手向け最終要項との整合	松村